

SPA8000のSession Initiation Protocol(SIP)パラメータ設定

目的

セッション開始プロトコル(SIP)は、IPベースのネットワークでセッションを作成、管理、および終了するために使用されるシグナリングプロトコルです。SIPは、コール管理のメカニズムです。また、ユーザロケーションの確立、機能ネゴシエーションの提供を行い、セッションの参加者全員がサポートする機能について合意し、進行中のセッションの機能に変更を加えることができます。SIPを使用すると、ユーザは複数のストリームで構成されるパケットを送信できます。ビデオ会議、インスタントメッセージ、メディアストリーミングなどのアプリケーションやプログラムには、複数のストリームで構成されるパケットがあります。このドキュメントでは、SPA8000でSIPパラメータを設定する方法について説明します。

該当するデバイス

- SPA8000

[Software Version]

- 6.1.12

SIPパラメータの設定

ステップ1：管理者としてWeb構成ユーティリティにログインし、[Advanced] > [Voice] > [SIP]を選択します。[SIP]ページが開きます。

Network		Voice	
Info	System	SIP	Provisioning Regional L1 L2 L3 L4 L5 L6 L7 L8 T1 T2 T3 T4
		Trunk Status	
User Login basic advanced			
SIP Parameters			
Max Forward:	70	Max Redirection:	5
Max Auth:	2	SIP User Agent Name:	\$VERSION
SIP Server Name:	\$VERSION	SIP Reg User Agent Name:	
SIP Accept Language:		DTMF Relay MIME Type:	application/dtmf-relay
Hook Flash MIME Type:	application/hook-flash	Remove Last Reg:	no
Use Compact Header:	no	Escape Display Name:	no
RFC 2543 Call Hold:	yes	Mark All AVT Packets:	yes
SIP TCP Port Min:	5060	SIP TCP Port Max:	5080
SIP TCP Port Min Mod2:	5160	SIP TCP Port Max Mod2:	5180
SIP TCP Port Min Mod3:	5260	SIP TCP Port Max Mod3:	5280
SIP TCP Port Min Mod4:	5360	SIP TCP Port Max Mod4:	5380

ステップ2:[Max Forward]フィールドにSIPの最大転送値を入力します。これは、次のダウンストリームサーバに要求を転送できるプロキシまたはゲートウェイの数の制限です。デフォルトの最大転送値は70です。

ステップ3:[Max Redirection]フィールドに、ネットワークで無限ループを回避するために招待をリダイレクトできる最大回数を入力します。デフォルトは5です。招待は、ユーザがコールに参加するように招待されたときに行われます。

ステップ4:[Max Auth]フィールドに、要求に対するチャレンジの最大回数を入力します。
[Max Auth]の値の範囲は0 ~ 255です。

ステップ5:[SIP User Agent Name (SIPユーザエージェント名)]フィールドに、アウトバウンド要求で使用されるユーザエージェントヘッダーを入力します。デフォルトのユーザエージェント名は\$VERSIONです。このフィールドを空のままにすると、ヘッダーに値は含まれません。

ステップ6：インバウンド要求への応答で使用するサーバ名を[SIP Server Name]フィールドに入力します。デフォルトのサーバ名は\$VERSIONです。

ステップ7：登録要求で使用するユーザエージェント名を[SIP Reg User Agent Name]フィールドに入力します。

ステップ8:[SIP Accept Language (SIP承認言語)]フィールドに、使用する優先言語ヘッダーを入力します。このフィールドは、理由フレーズの優先言語を示す要求で使用されます。または、応答のメッセージ本文として伝送されるステータス応答で使用されます。[Accept Language]ヘッダーフィールドが存在しない場合、サーバはすべての言語がクライアントで受け入れ可能であると想定する必要があります。

ステップ9:[DTMFリレーMIMEタイプ(DTMF Relay MIME Type)]フィールドに、DTMFイベントを通知するためにSIP情報メッセージで使用されるMIMEタイプを入力します。デフォルトはapplication/dtmf-relayです。Multi-Purpose Internet Mail Extensions(MIME)は、電子メールの機能を向上させるインターネット標準です。デュアルトーン多重周波数(DTMF)は、ソフトキーを押して接続を確立したときに電話機が生成する信号です。

ステップ10:[Hook Flash MIME Type]フィールドに、フックフラッシュイベントを通知するためにSIP情報メッセージで使用されるMIMEタイプを入力します。デフォルトはapplication/hook-flashです。フックフラッシュは、電話機のハングをシミュレートし、その後すぐに電話機を再びピックアップします。

ステップ11:[Remove Last Reg]ドロップダウンリストと異なる値の場合は、新しい登録を登録する前に使用した最後の登録を削除するには、[yes]を選択します。デフォルトはyesです。

ステップ12:[Use Compact Header]ドロップダウンリストから、通常のSIPヘッダーではなく、発信SIPメッセージでコンパクトSIPヘッダーを使用するには、[yes]を選択します。デフォルトはyesです。コンパクトヘッダーを使用すると、メッセージのサイズが最小限に抑えられます。

ステップ13:[Escape Display Name]ドロップダウンリストから表示名を非公開にするには、[no]を選択します。デフォルトはnoです。この機能を使用すると、管理者はSIPのユーザの名前(ID)を非表示にできます。

ステップ14:[RFC 2543 Call Hold]ドロップダウンリストからコール保留のタイプを設定するには、[yes]を選択します。デフォルトはnoです。

ステップ15:[Mark All AVT Packets]ドロップダウンリストから[yes]を選択して、すべてのAVTトーンパケットにマーカビットを設定します。[いいえ(no)]を選択すると、最初のパケットだけにDTMFイベントごとにマーカビットが設定されます。マーカビットは、AVTパケットを識別するために使用されます。

ステップ16:[SIP TCP Port Min]フィールドに、SIPセッションに使用できる最小のTCPポート番号を入力します。

ステップ17:[SIP TCP Port Max]フィールドに、SIPセッションに使用できる最大TCPポート番号を入力します。

注：冗長性に使用できる追加のSIP TCPポートの最小/最大モジュール番号フィールドは最大3つあります。

ステップ18: (オプション) [SIP TCP Port Min Mod(2/3/4)]フィールドに、SIPセッションに使用できる最小のTCPポート番号を入力します。

ステップ19: (オプション) [SIP TCP Port Max Mod(2/3/4)]フィールドに、SIPセッションに使用できる最小のTCPポート番号を入力します。

ステップ20:[Submit All Changes]をクリックして、設定を保存します。